

ライブインシデント対応のWebexへのAppDynamicsアラートの設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[AppDynamicsとWebexを統合する理由](#)

[コンフィギュレーション](#)

[ステップ1:Webex Webhookの作成](#)

[ステップ2: AppDynamicsでHTTP要求テンプレートをセットアップする](#)

[ステップ3:HTTP要求テンプレートをポリシーにリンクする](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[結論](#)

[サポートが必要な場合](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、アラート通知をWebexスペースに直接送信するようにAppDynamics Controllerを設定する方法について説明します。

前提条件

- AppDynamics Controllerへの管理アクセス (SaaSまたはオンプレミス)
- Webhookを作成する権限のあるWebExアカウント
- AppDynamicsアラートおよびHTTP要求テンプレートに精通していること
- REST APIの基本的な知識

要件

- AppDynamics Controllerバージョン21.x以降
- Webexアプリアカウントと[Webex AppHub](#)
- AppDynamics ControllerとWebexクラウドエンドポイント間のネットワーク接続
- AppDynamicsで構成された通知ポリシー

使用するコンポーネント

- AppDynamicsコントローラー
- Webex アプリ
- HTTP要求テンプレート

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

今日の急速に変化する環境では、平均検出時間(MTTD)と平均解決時間(MTTR)を最小限に抑えることが重要です。このガイドでは、アラート通知をチームのコラボレーションスペースに自動的にプッシュするためにAppDynamics ControllerとWebexを統合する手順を説明します。これにより、リアルタイムの可視化が可能になり、インシデントへの対応が迅速化します。

設定

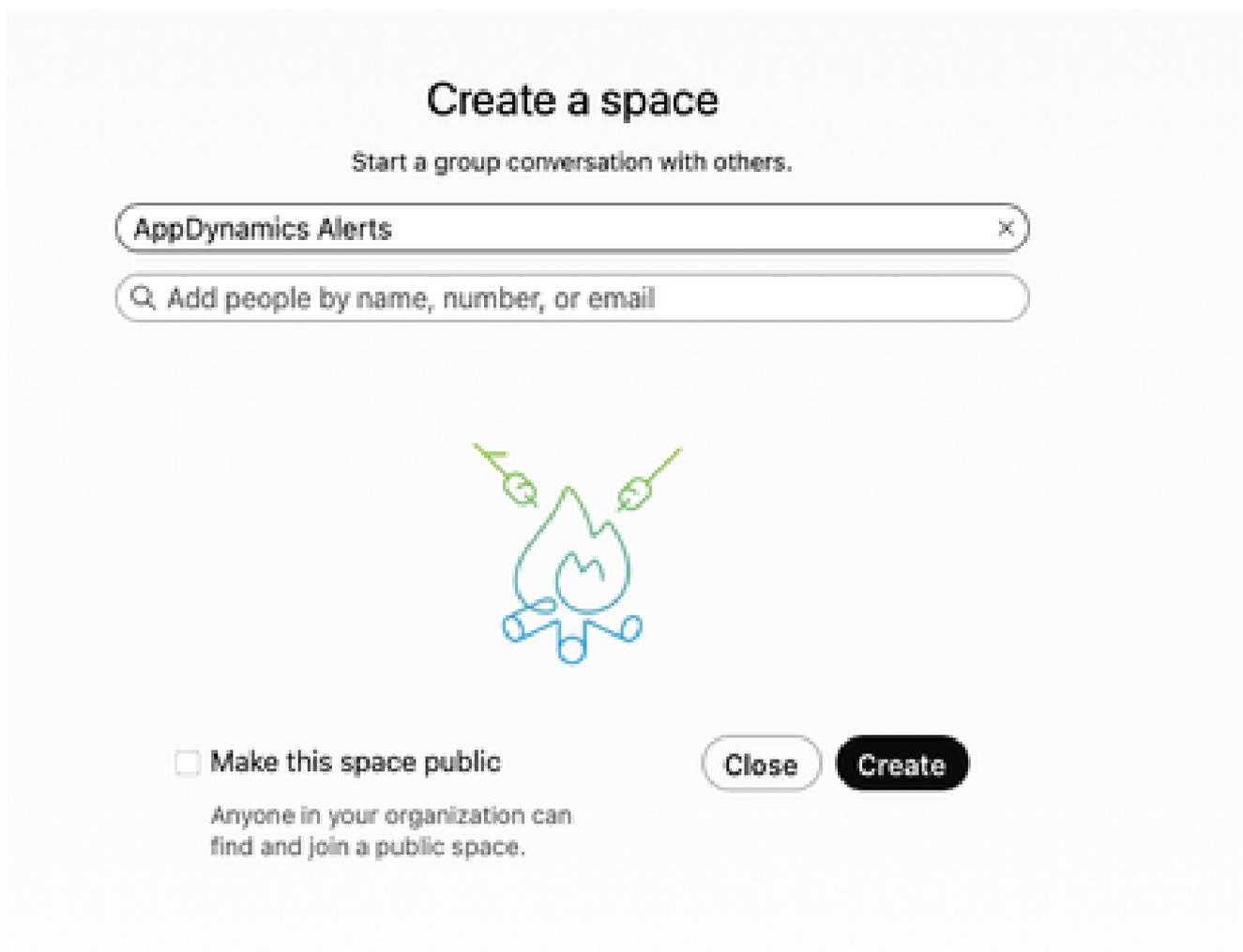
AppDynamicsとWebexを統合する理由

- インスタントコラボレーション：WebExスペースでAppDynamicsアラートを受信し、チームの認識とアクションを即座に行うことができます。
- インシデント対応の強化：ITチームとDevOpsチームが協力してリアルタイムで問題のトリアージと解決を行うことができます。
- 統合ワークフロー：インシデントとディスカッションを1つのプラットフォームで管理し、コンテキストの切り替えを削減します。

コンフィギュレーション

ステップ1:Webex Webhookの作成

- Webexスペースを作成します。



- [Webex AppHub](#)にログインし、[Incoming Webhook](#)に移動して[Connect:](#)を選択します。



- Webhook名を入力し、アラートを送信するWebexスペースを選択します。
- Addをクリックし、webhook URLをメモ帳にコピーします。



Incoming Webhooks

AppD-Alerts

Room: AppDynamics Alerts



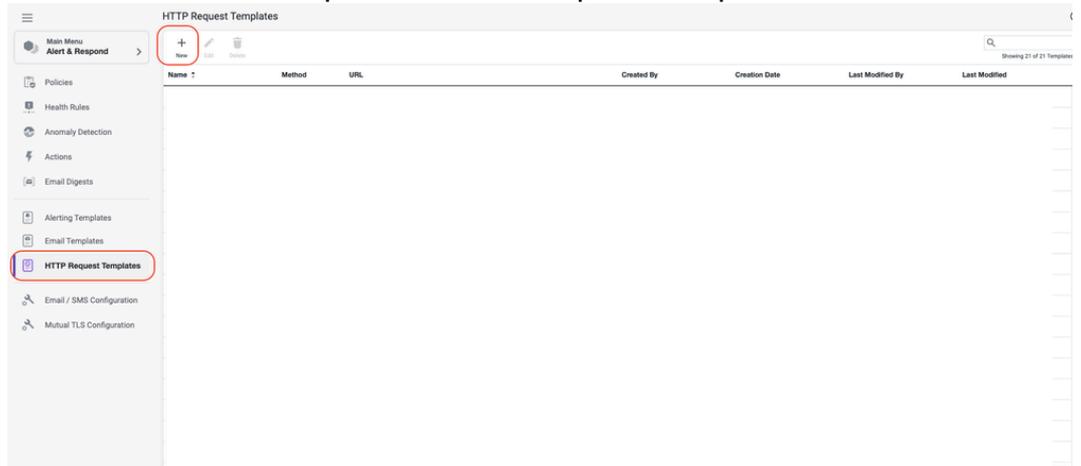
🔗 Webhook URL

`https://webexapis.com/v1/webhooks/incoming/Y2lzY:`



ステップ2: AppDynamicsでHTTP要求テンプレートをセットアップする

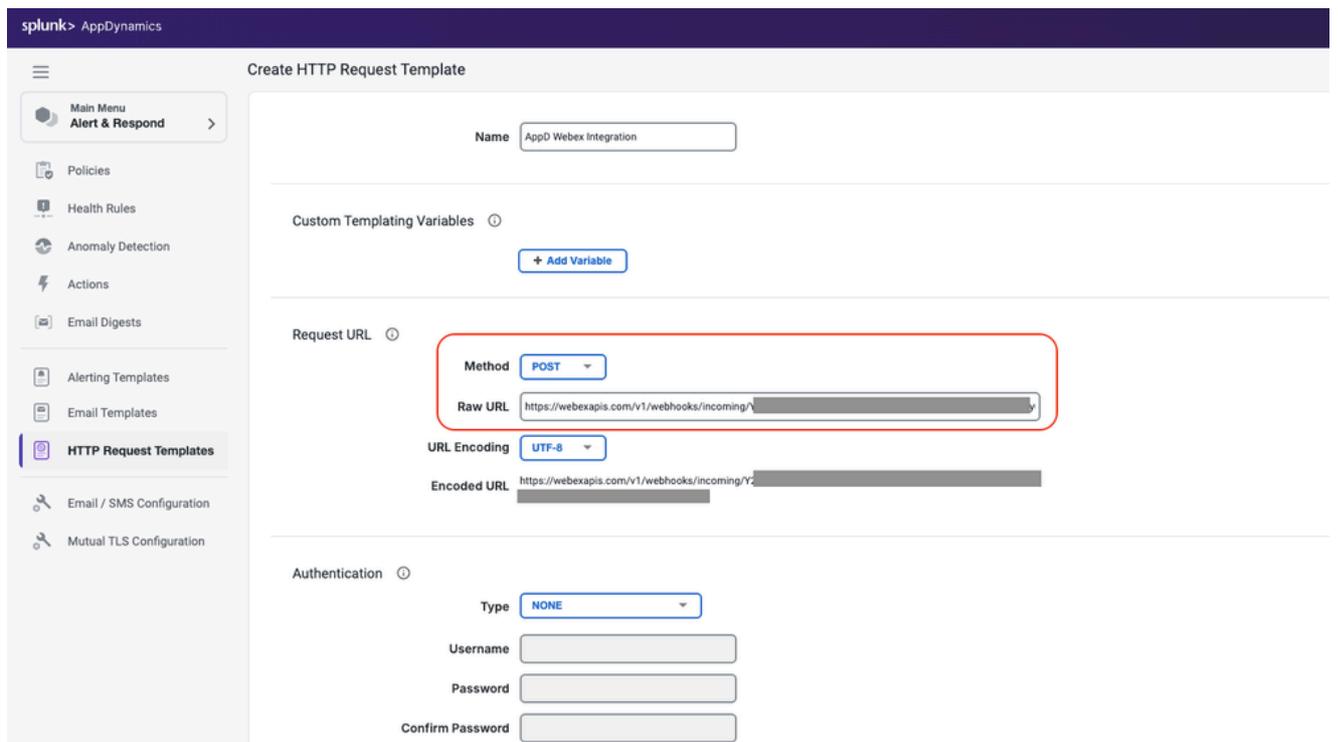
1. AppDynamics Controllerで、Alert & Respond > HTTP Request Templatesに移動し、Newを



クリックします。

2. このHTTP要求テンプレートに名前を付け、POST方式を選択します。

3. ステップ1で取得したメッセージ用にコピーしたWebex Webhookエンドポイントを入力します。

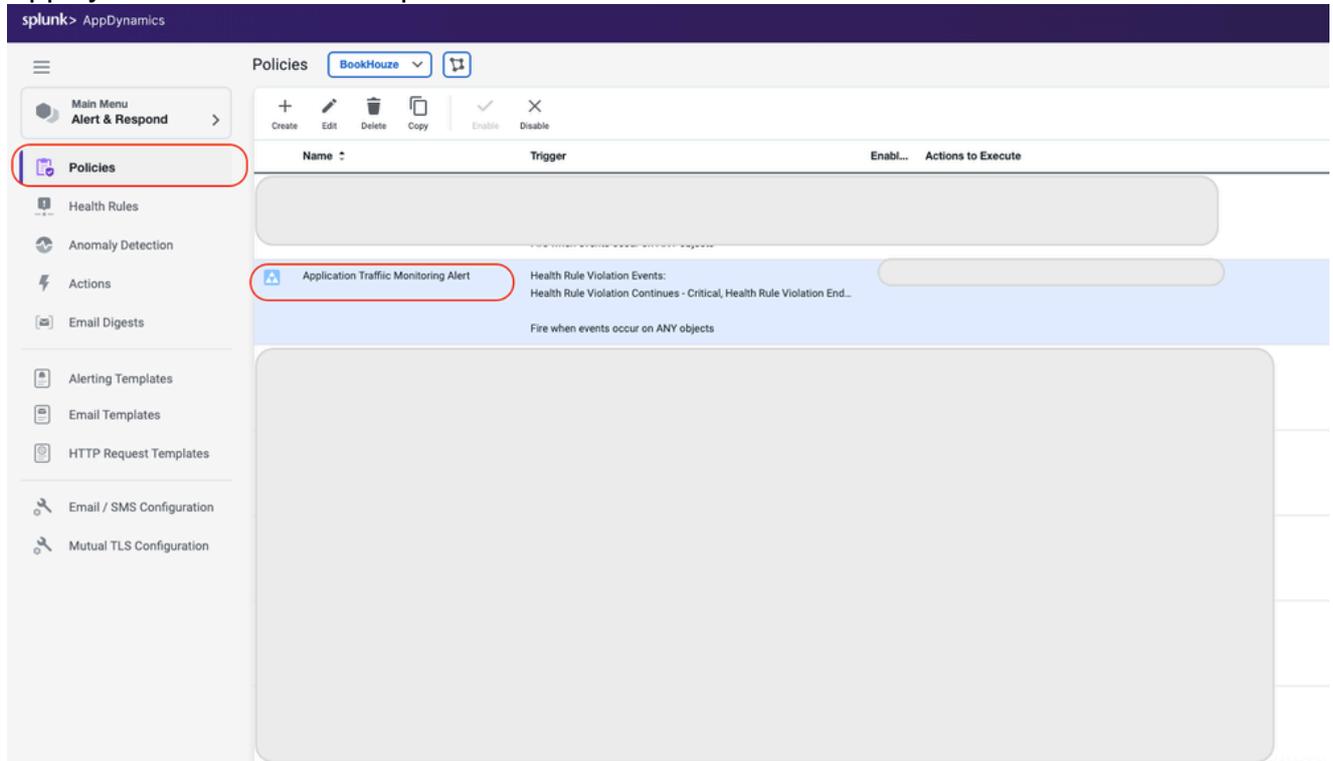


4. ペイロードを入力します。サンプルペイロードが提供されます。ビジネスニーズに基づいた更新：

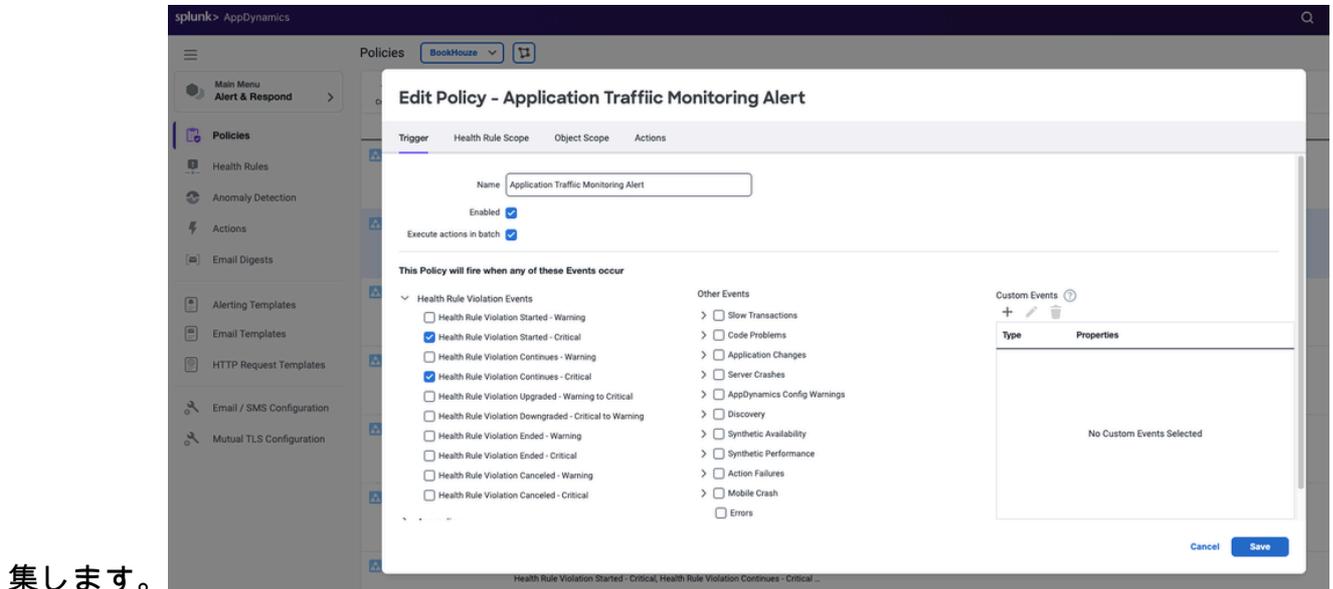
```
{  
  "markdown": "AppDynamics Alert: ${latestEvent.displayName}\nSeverity: ${latestEvent.severity}\nTime:  
}
```

ステップ3:HTTP要求テンプレートをポリシーにリンクする

1. AppDynamicsでAlert & Respond > Policiesの順に移動します。



2. 目的の正常性ルールまたはカスタムイベントに対してトリガーするポリシーを作成または編

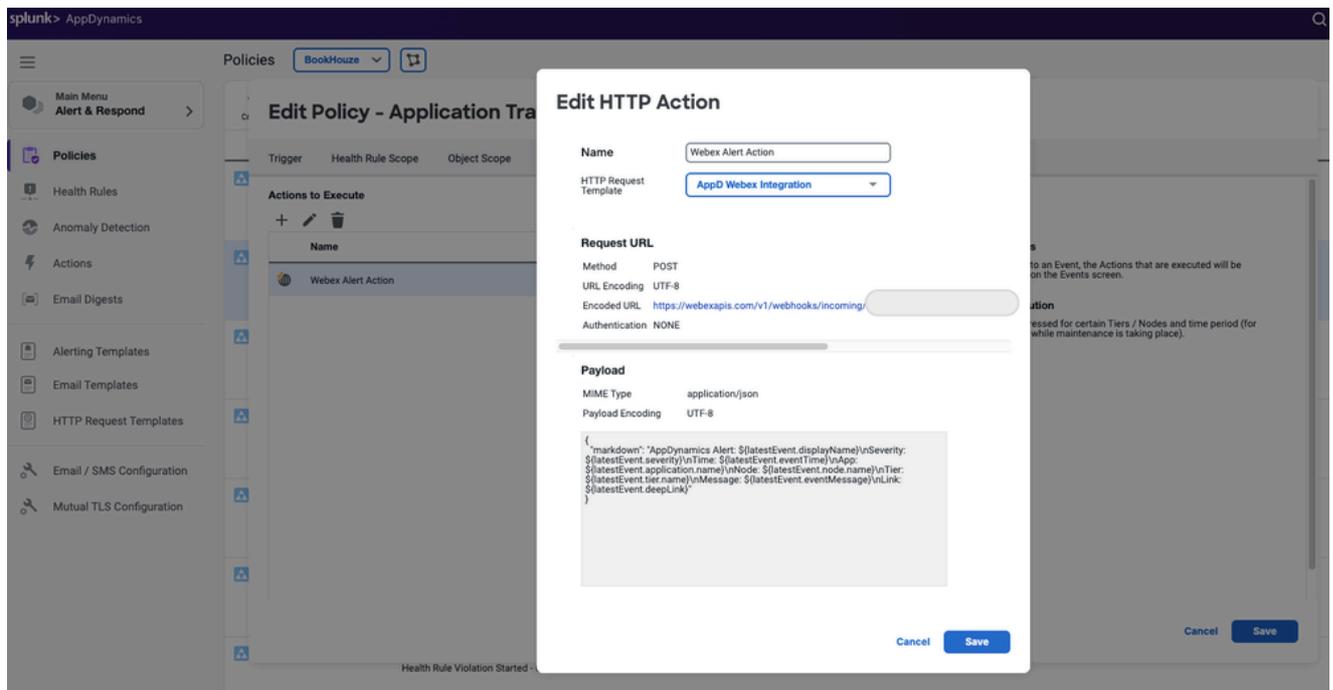


集めます。

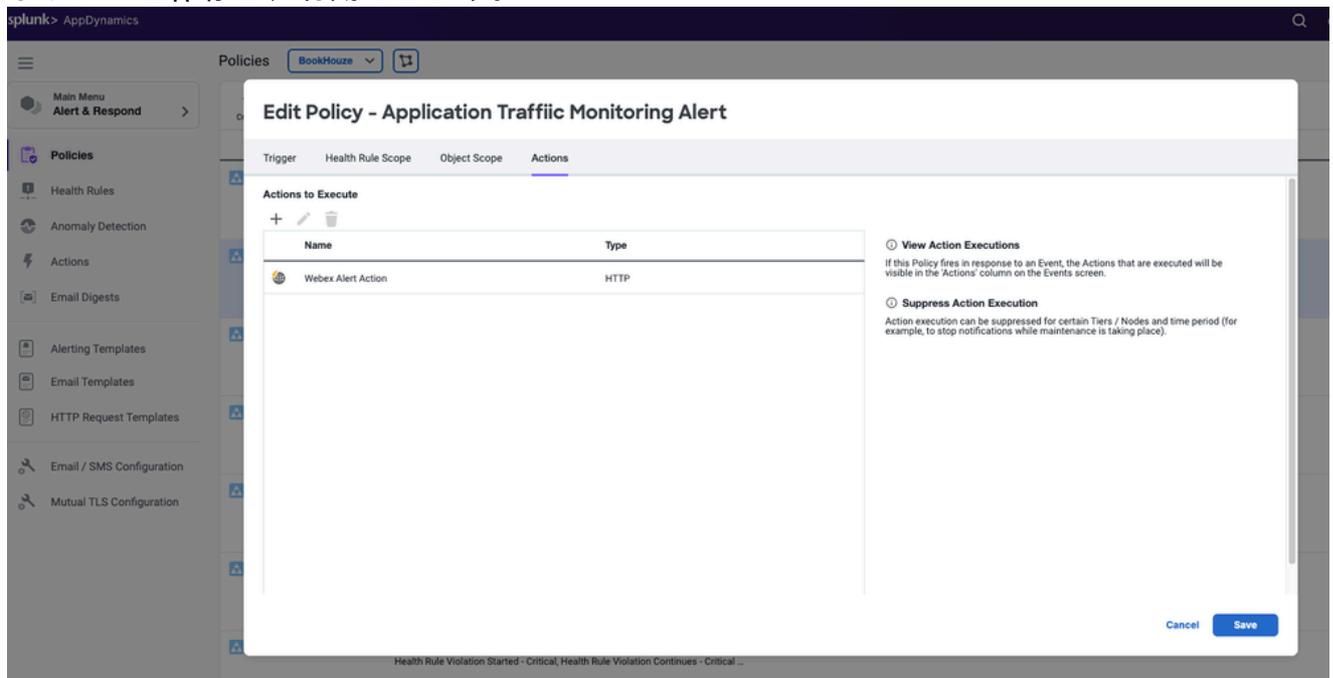
3. 新しいHTTP要求テンプレートを使用するためのアクションを追加します。

HTTP要求テンプレートの名前は、手順2で作成したように自動的に入力されます。



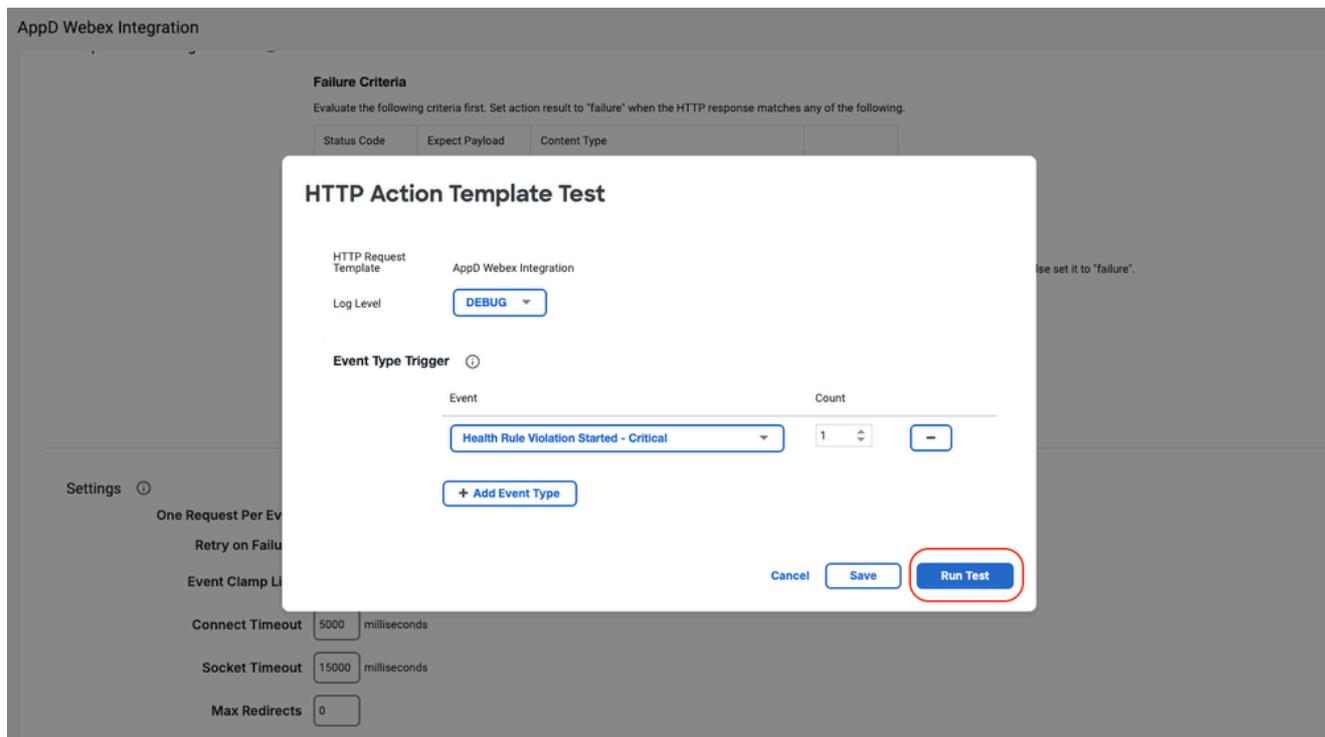


4. ポリシーを保存し、有効にします。

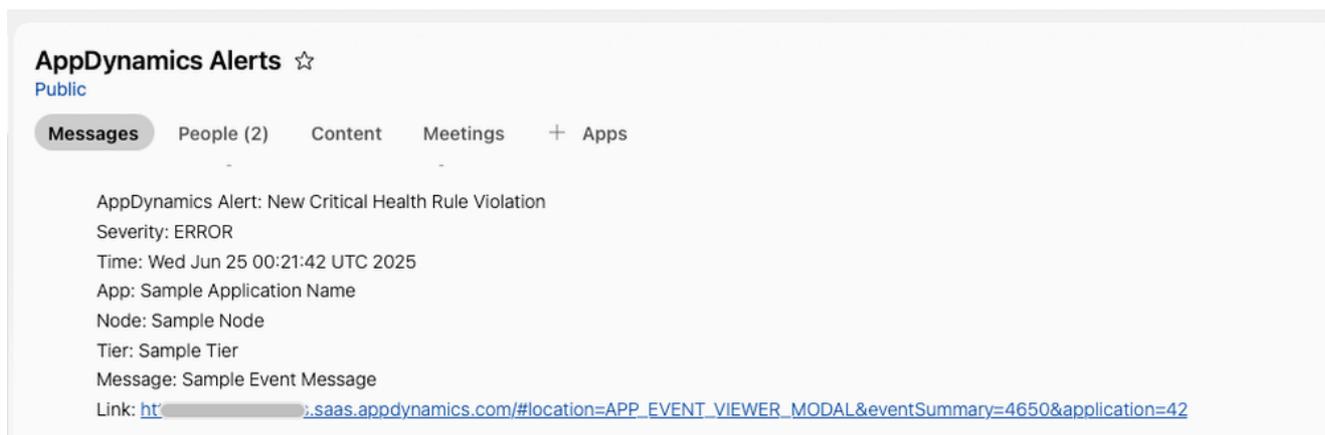


確認

- AppDynamicsでテストアラートをトリガーする：



- 指定されたWebexスペースでアラートメッセージを確認します。



- アラートに関連するすべての詳細が含まれていることを確認し、さらに調査するためにAppDynamicsに戻るリンクを設定します。

トラブルシューティング

問題	トラブルシューティングの手順
Webexにメッセージがない	<ul style="list-style-type: none"> – ボットトークンとアクセス許可を確認する – AppDynamics HTTP要求ログでエラーを確認します – スペースIDとAPIエンドポイントが正しいことを確認します。
認証エラー	<ul style="list-style-type: none"> – Webhook URLが正しいことを確認します。
メッセージ形式の問題	<ul style="list-style-type: none"> – JSONペイロードの検証 – AppDynamics変数名が正しいことを確認しま

結論

AppDynamicsとWebexを統合することで、ITチームとDevOpsチームがアラートに迅速に対応し、解決までの時間を短縮し、サービスの信頼性を向上させることができます。この低コードの統合により、チームがすでに作業している場所でインシデントコラボレーションが合理化されます。

サポートが必要な場合

質問がある場合や問題が発生している場合は、[AppDynamicsサポート](#)に連絡して、エラーメッセージ、構成情報、関連ログなどの詳細を含めることで、トラブルシューティングを迅速に進めることができます。

関連情報

- [AppDynamicsドキュメント](#)
- [HTTP要求テンプレート](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。